

東京大学医学部附属病院にて放射線科治療でご加療中の方へ

【研究課題】

医療画像の画質改善に関する包括研究

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

研究機関 東京大学医学部附属病院 放射線科 放射線治療部門

研究責任者 野沢 勇樹 特任助教

担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

【共同研究機関】

研究機関 弘前大学

研究責任者 尾崎 翔 助教

担当業務 データ解析

研究機関 九州大学マス・フォア・インダストリ研究所

研究責任者 鍛冶 静雄 教授

担当業務 データ解析

研究機関 大阪医科薬科大学

研究責任者 名和 要武 講師

担当業務 データ解析

【研究期間】

承認日 ~ 2028年08月31日

【対象となる方】

2010年01月01日～2028年08月31日に東京大学医学部附属病院放射線科放射線治療部門で放射線治療を加療された方。

【研究の意義】

放射線治療においては、治療時の患者さんの位置決めのために、コンビーム CT やメガボルト CT などの医療画像が撮像されます。これらは撮像方法の簡便さや被爆の少なさと引き換えに低画質であり、画質を改善することは放射線治療を高精度化させるという点で重要な研究課題であると考えられています。

【研究の目的】

東京大学医学部附属病院にて放射線治療が行われた患者さんの過去の医療画像を用いて、画質改善の新しい方法を構築することを目的とします。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。これまで診療目的で取得された医療画像や診療録を収

集して行う研究であり、特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの医療画像は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、野沢勇樹（管理責任者）が、個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコン等で厳重に保管します。ただし、必要な場合には、この符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

また、弘前大学、九州大学マス・フォア・インダストリ研究所、大阪医科薬科大学の解析用 PC において解析を行う場合は、個人が特定できない匿名化されたデータを、セキュリティレベルが十分であることが確認されたクラウド等のデータ共有システムを用いて、東京大学医学部附属病院から弘前大学、九州大学、大阪医科薬科大学にデータ移動します。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局までご連絡ください。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等において発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

本研究は、Canon より受託研究資金の提供を受けて実施いたしますが、東京大学医学部利益相反アドバイザー機関に報告し、利益相反マネジメントを適正に行っています。

尚、あなたへの謝金はございません。

【問い合わせ先】

〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学医学部附属病院 放射線科 放射線治療部門

研究責任者：野沢 勇樹 特任助教

E-mail：nozaway-rad@h.u-tokyo.ac.jp

TEL：03-5800-8667（放射線治療部門直通電話）

FAX：03-5800-8935